



VOICE

読者のページ

2025年8月号(53巻8号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

特別座談会 震災と臨床検査 —経験談から考える備えと対応—

- 緊迫感のある経験談を拝読しました。当院でも定期的に災害訓練を実施していますが、記事を読み、不十分さに気づきました。寒冷時にPOCTが作動しないとは想定外で、大変参考になりました。 **HH (兵庫県)**
- とても興味深い内容でした。日本は災害大国なので、いつでも何が起ころうと医療人として行動できるよう、災害訓練や日常点検、他部署との連携を怠らないことを心がけます。 **さんきち (山口県)**
- 体験に基づく貴重なお話の数々が大変心に響きました。自然災害に加え、人災も想定して日常から緊急時の臨床検査に備える必要を実感します。 **HY (福岡県)**

基礎講座

シリーズ 押さえておきたい血管機能検査 1. 血圧脈波検査 (ABI/PWV)

- 実際の結果の解説がとても実践的でした。片側の上腕しか血圧測定できない場合が多々あるので、結果解釈の際には気をつけようと思います。 **MT (愛知県)**
- ピットフォールについて、具体的な事例を交えた解説が大変わかりやすかったです。この検査に限らず、数値だけを鵜呑みにせずに総合的に評価することの重要性を感じます。 **HH (兵庫県)**
- 手技的には簡単な検査なので、何気なく検査して結果を出していました。細かい数値や波形の見方など、あらためて勉強になりました。 **YO (岐阜県)**

臨床検査 Q&A

蛋白尿というと腎機能が悪いというイメージをもっていますが、蛋白尿が出た時はどのような点に注目・注意すべきかを教えてください。

- 先日、医師から「健診時は軽い脱水状態なので、検査の基準値を一考しては？」と意見がありました。尿蛋白やヘマトクリットは高くなりがちなので、基準値を少し緩めることも検討中です。 **さんきち (山口県)**
- 表1「病的蛋白尿の分類」で、病的蛋白尿が腎前性・腎性・腎後性に分けられることと、各疾患の特徴をあらためて学べました。 **ビューティ (新潟県)**
- 尿の濃縮度の補正に尿クレアチニンが用いられることをはじめて知りました。とても勉強になりました。 **SS (奈良県)**

技術講座

超音波検査における 肝硬度測定と肝脂肪化測定

- サンプリング部位によって計測値が異なり、経時的変化を評価するのが難しいと感じています。測定における注意点が役に立ちそうです。 **まるねこ (兵庫県)**
- 脂肪肝はエコーでコントラストを見て判断するため、職員によって見解が変わる場合もあり、判断が難しいと感じていました。肝硬度測定と肝脂肪化測定が同時にできて、さらに数値でわかるのは素晴らしい技術だと思います。 **SI (長崎県)**
- 今まではSWE機能をうまく活用できていませんでした。この記事が今後の検査の参考にさせていただきます。 **HY (福岡県)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

